

| 事業名 | 「農の入口」モデル事業 |
|-------------|--|
| 提案年度／賞 | 平成28年度／最優秀賞 |
| 提案学生の在籍する大学 | 近畿大学 |
| 事業の目的 | <p>奈良県の農業にとって解決すべき課題である農業の担い手の確保を図るため、近畿大学学生からの政策提案(平成28年度)をもとに、県と近畿大学が連携して新たな切り口での担い手確保対策に取り組む。大学内および近隣に実証ほ場を設置し、「なら近大農法」の確立・実用化を図り、多様な担い手の円滑な就農を支援することを目的としている。</p> |
| 30年度事業概要 | <p>平成29年度に設置した実証ほ場において、誰もが無理なく取り組めるユニバーサル農法(ポリエステル培地を使用した農法)とICT農法(ICTを活用した農法)を実践し、農業経営における問題点の抽出、改善方法等の検討を行うことによって、2つの農法のマニュアルを作成し、「なら近大農法」の確立・実用化を目指す。実証ほ場の運営には、近畿大学の学生にも携わっていただく予定。</p> |
| 30年度予算額 | 5,643千円 |
| 学生の参加方法 | 近畿大学農学部の学生に呼びかけ、希望者がほ場管理作業などに参加。 |
| 担当課 | 奈良県農林部 担い手・農地マネジメント課 |